

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

蒸気・ドレンの有効活用による省エネ事業

排出削減事業者名: 株式会社レンティック中部 浜松事業所

排出削減事業共同実施者名: 環境経済株式会社

その他関連事業者名: 株式会社洗陽システムソリューション

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社 レンティック中部
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	浜松事業所
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者(注)	
関連事業者名	株式会社洗陽システムソリューション

(注) その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者  
国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

蒸気のドレン回収及びフラッシュ蒸気の回収並びに保温強化による省エネルギー事業

### 2.2 排出削減事業の目的

省エネルギーにより、温室効果ガスの削減を行う。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

蒸気のドレン・排熱回収、フラッシュ蒸気の利用、放熱ロスの低減によるCO2削減を行う。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2008年 8月 1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2010年 1月 1日～2010年 12月 31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

#### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

当該ボイラーとその熱供給を受ける熱使用設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、)変更理由
$F_{\text{fuel},Pj}$	事業実施後燃料(A重油)使用量	kl/年	1428	燃料供給会社からの請求書	
$HV_{\text{fuel},Pj}$	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/kl	39.1	デフォルト値	
$\epsilon_{Pj}$	事業実施後ボイラーを含む設備全体の効率	%	98.8	別紙2 ※1	
$\epsilon_{BL}$	事業実施前ボイラーを含む設備全体の効率	%	82	別紙1 ※1	
$CF_{\text{fuel},Pj}$	事業実施前後燃料の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/GJ	0.0189	デフォルト値	

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

燃料使用量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
1,428.0kl	39.1GJ/kl	0.0189tC/GJ	3,869.4t-CO2
EMPj			3,869.4t-CO2

算定式

$$EM_{Pj} = \sum_{i=1}^i \left( F_{fuel,Pj} \cdot HV_{fuel,Pj} \cdot CF_{fuel,Pj} \cdot \frac{44}{12} \right)$$

### 7.2 ベースライン排出量

エネルギー使用量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
67,274 GJ	39.1GJ/kl	0.0189tC/GJ	4,662.1t-CO2
(参考) 燃料使用量	1,720.6kl		
EM <sub>BL</sub>			4,662.1t-CO2

算定式 ベースラインエネルギー使用量

ベースライン排出量

$$Q_{fuel,BL} = \sum_{i=1}^i \left( F_{fuel,Pj} \cdot HV_{fuel,Pj} \cdot \varepsilon_{Pj} \cdot \frac{1}{\varepsilon_{BL}} \right)$$

$$EM_{BL} = Q_{fuel,BL} \times CF_{fuel,BL} \times \frac{44}{12}$$

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
LE			0.0t-CO2

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	4,662.1t-CO2
事業実施後排出量 (7.1)	EMPj	3,869.4t-CO2
リークージ排出量 (7.3)	LE	0.0t-CO2
温室効果ガス排出削減量	ER	792t-CO2

算定式

$$ER = EM_{BL} - (EM_{Pj} + LE)$$

8 省エネルギー量

原油換算		
ベースライン(①)	実績(2)	ベースライン-実績 (①-②)
1735.1	1440.5	294.6

9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間( 年 月 日～ 年 月 日)		
		エネルギー使用量(実績)	熱量換算(実績)	原油換算(実績)